＜山行報告＞

明神岳バリエーション（東稜～主峰～主稜線）

【報　告　者】キーボウ
【日　　時】2020 年 9 月 21 日（月）～22 日㈫
【参　加　者】りりぃ、キーボウ

【明神Ⅴ峰から主峰を望む】

≪コースタイム≫
9 月 21 日（月）； 徳沢キャンプ場（6：15）～明神（7：00）～養魚場（7：15）～ひょうたん池（12：00）～ラクダのコル（16：45）
9 月 22 日（火）；ラクダのコル（7：30）～東稜登攀～明神岳Ⅰ（10：00）～明神岳Ⅱ～明神岳Ⅴ（13：00）～上高地（16：30）

≪　報　　告　≫

稲子岳の登攀を終え、松本に向かい 21 日に上高地に入った。小梨平キャンプ場は限定使用とのことで使えない。限定の無い、徳沢のキャンプ場に向かうこととした。

途中、明神で翌日の取り付きの下見に林道を歩いて信州大学の養魚場を確認。そ

して、嘉門次小屋に立ち寄り、岩魚の塩焼きを堪能。お酒も頂き、少しふらふら気味で徳沢へ向かう。

　徳沢園付近は超混雑。何とかテントスペースを確保し、徳沢園名物の「手作りカレーライス」で夕食を取る。

　翌朝、明神迄戻り、昨日確認しておいた養魚場からいよいよ明神岳に向かう。

　まずは、下宮川谷を一気に詰めて右手の尾根を越え、上宮川谷に入る。標高差800mを登りきると、ひょうたん池に出会う。名前は有名だけど、小さくて感動するようなものではない。この池を目的に来る人もいるようだが？？・・・

　一息入れた後、傾斜はさらに厳しくなり、ビバーク地点のラクダのコルに向かう。もう、僕はバテバテだけどリリィに励まされて喘ぎあえぎ登る。途中、崩壊地点が出てきた。登山道が崩壊したものと思い、ザックを置いてフリーでこれを乗り切る。後でザックを引き上げていたら、少し左手に簡単に登れるルートがあった。ザックを引き上げる途中、岩にひっかかりフックのループを切ってしまった。後から登ってきたペアがここから先行することに。

　ハイマツのブッシュを手を使って登りきるとラクダのコルに到着。テントスペースは 2 張りがせいぜいかな。下に、先行のペア、上に僕らのテントを張る。今晩はこの２組のみとなる。

さて、翌日も良い天気。これからは、岩場主体なので、僕のモチベーションが上がる。先行のペアを見送り、ハーネスをつけていざスタート。先行ペアは直登で 1 ピッチ目をクリア。僕たちは、ネットで調べた通り、左に回り込みブッシュ混じりのピッチを選んだ。2 ピッチ目はスラブをほぼ直上。3 ピッチ目はどこでも登れそう。頂上手前でピッチを切り、最終 4 ピッチをりりぃがトップで山頂を目指す。古いリングボルトはあるがあまり支点としては期待できない。岩も脆く、ルート選択に細心の注意を払う。

ほどなく、明神岳の山頂に到着。ここまで来ると、V 峰からの縦走組もちらほら。

明神主峰からの下りはざれざれで気を遣う。II 峰ではロープを出す。2 ピッチで登り切り、ここでロープはしまう。III 峰・IV 峰・V 峰と辿る。V 峰では有名なピッケルの目印がある。ここから、長い長い下りになる。岳沢からの一般道に出会うまでは気が遠くなるほど長かった。一般道に出会うと後は上高地迄一息。但し、ここまですべてアプローチシューズで登ってきたので、指に違和感が・・なんとか上高地に下り長い長い下りは終了。

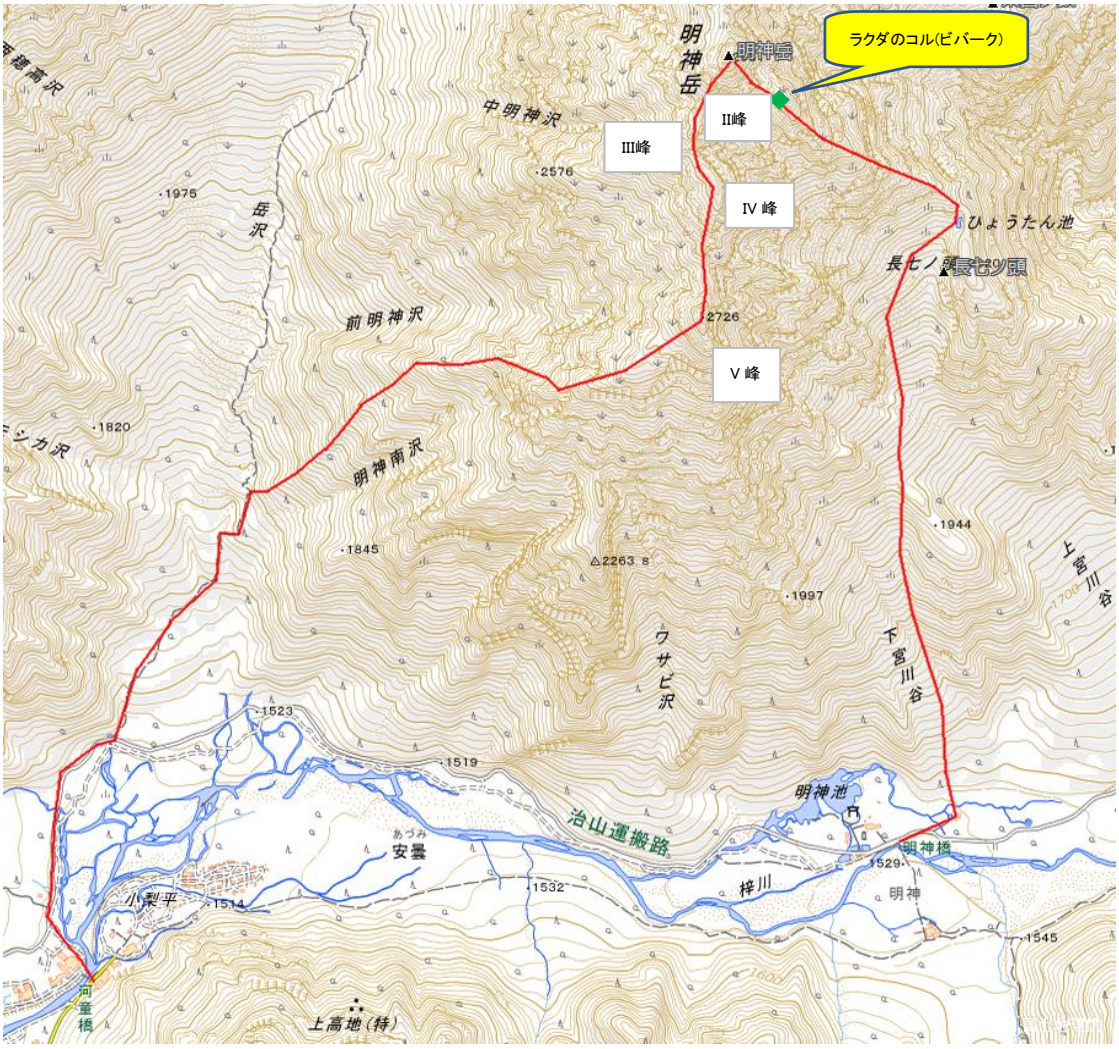
りりぃお疲れ様でした。かなり厳しいコースだったけどりりぃとのペアでなければ達成できなかったのではと思います。もう、こんな厳しいルートは最後かな？

＊後の、りりぃの facebook でのコメントには、

前日取付きの下見に林道を歩いていた時、嘉門次小屋の方に「えっ！明神行くの？（大丈夫か…？）」と驚かれたことは内緒にしておきましょう。
ラクダのコルできーぼうさんが赤ちゃんのように 10 時間も寝たというのもね。私ももう最後かな。肉体的にはとてもきつかったけど、何物にも代えられないほどの満ち足りた時間でした。良き♪良き♪

＊ ラクダのコルでビバークしたもう一組の Yukidaruma さんの YAMAP での報告の一部を掲載します。

昔の仲間と、穂高へアルパインクライミングに行ってきました。実に 10 年以上ぶり！ アルパインといっても、直前にメンバー１人不参加になりルートを変更して、純粋に「岩登りを楽しむ！」というよりは、クラシックでワイルドな岩稜登攀、とでも言うべき？明神岳東稜を上り、主稜を下る、明神満喫コース。 登攀技術的な難しさより、引けば動く脆い岩ばかりだったり、引っ張っちゃダメ❤️な草付きホールドを握って押して騙し騙し登ったり、不安定なガレ場をズルズル下ったり…とにかく神経をすり減らして辿った尾根でした。 それでも、上高地の喧騒から逃れ、ほとんど人に会わずに山に翻弄されまくるのも、たっぷりと山にまみれられた満足感たっぷりの２日間でした
・・・・・・・・・・・
いよいよクライミング！だが…テン泊装備のザックはズシリと背中に重く後ろに引かれるし、山靴の先で乗る細かいスタンスはいつ滑るかと不安しかない。それでやはり浮き石だらけの不安定な岩場を登るのが、快適に思えるはずもなく…10 年以上ぶりのアルパインを、全装担ぎ上げルートにしたことを後悔する…いや、せめてフラットソールは持ってくるべきだった！ やがて追い付いてきた昨日の先行パーティ＝今日の後続パーティは、しっかりフラットを履いていて快適そうにサクッと登って追い付いてくるのである…。 節理の発達した、楽しそうにも見える最後の岩場も、クラックが豊富そうに見えて全てが動いていて、カムをセットしたいところで全然セット出来ず(多分開くよね💧)、結局パートナーにトップを行ってもらう…はぁ情けない😞💨


ラクダのコル(ビバーク)
明神岳
明神島
II峰
III峰
IV 峰
V 峰
中明神沢
前明神沢
明神南沢
岳沢
ひょうたん池
長七ノ頭
ウサビ沢
下宮川谷
上宮川谷
治山運搬路
明神池
明神橋
梓川
安曇
小梨平
河童橋
上高地(特)
2576
2726
1975
1820
1845
2263.8
1997
1944
1523
1519
1514
1532
1529
1545